

# フードパントリーみんなのれいぞうこ

社会福祉法人玉医会

## 1 事業者の紹介（事業内容・沿革）

昭和47年玉名郡市医師会を母体として設立。障害者支援施設たまきな荘の他4事業所を運営。平成31年4月"地域公益事業"として「地域福祉交流館FindingR」を開設。NPO支援、不登校児支援、子育て支援に取り組んでいる。

## 2 取組の内容

令和3年12月に「地域福祉交流館FindingR」内に「フードパントリーみんなのれいぞうこ」を設置し、SDGsの観点から、地域内の行政機関、企業、団体と協働し、経済的支援を必要とする子育て世帯にフードロス食品等を無償で配布する取組みをスタート。現在427世帯の利用登録があり、平日9～18時の間、無料で自由に食品等を持ち帰れる仕組みを構築。

## 3 取組のきっかけ・経緯

医師会を母体とした法人であり、心身の健康の大切さを伝える立場として、特に子ども達が家庭の経済的状況等に関わらず、食事を摂ることができ、心身を健やかに育てることができるような取り組みが必要であると考えた。

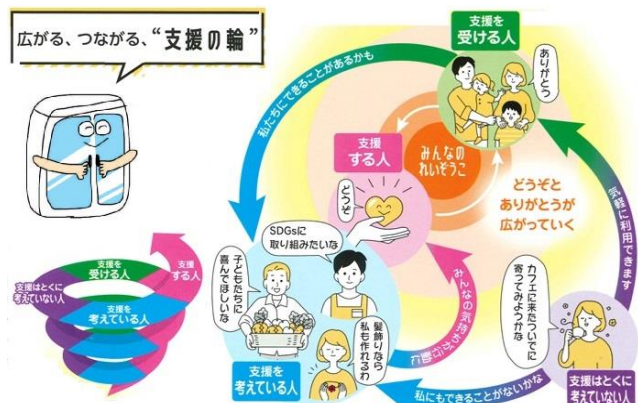
## 4 取組の効果

令和4年1月の当法人と玉名市との間で食支援連携協定を締結。物品寄贈協力企業・団体は現在24社。令和5年7月実施の利用者アンケートで経済的困難さを利用の理由に挙げた世帯94.6%。1日平均51世帯（令和6年7月末時点）に対し、無償で食料支援を実施。地域内のフードロス食品等を食支援を必要とする家庭に繋ぐ好循環を創出している。

## 5 今後の展望

フードロスがある一方、経済的理由で食事に困っている家庭がある現状に対し、双方を繋ぐ場を提供し、必要なものを必要な人へ緩やかに循環させるコミュニティを拡大させる。

## 該当する目標



フードパントリーみんなのれいぞうこ概念図



みんなのれいぞうこを利用されている様子



みんなのれいぞうこに寄贈された品物